

雇用支援ネットワーク会議を実施しています。



雇用支援ネットワーク会議とは

杉並区との共催で実施し、作業所等の施設や関係機関が会議や事例検討などを通して、障害者就労、雇用に関する情報の共有や障害者の就労と生活に関わる一体的な支援を行うため、連携を図ることを目的とした会議です。毎月1回開催しています。

今年度から雇用支援ネットワーク会議の内容が一部変わります

令和4年度までは、作業所等の支援者や関係機関の職員が参加する会議でしたが、令和5年度から当事者も参加する会議になりました。

雇用支援ネットワーク会議では、当事者の声を聴きながら「働きやすい地域とは?」「相談しやすい支援者とは?」など当事者目線で考えていきます。



8月・9月の雇用支援ネットワーク会議の実施内容（予定）

8月は企業見学会を予定しています。支援者と当事者がペアで見学会に参加し、実際の職場を見てもらい、企業の担当者から「働くために必要なこと。」などをお話ししていただきます。

9月は企業で働いている当事者と人事担当者を会議にお招きし、支援者が聞きたいことや知りたいことをインタビューします。

今後も雇用支援ネットワーク会議は、当事者の声を反映し、地域で支援できるように支援者同士顔が見える関係を作っていきたいと考えています。



写真は6月に行われた雇用支援ネットワーク会議で「東京ジョブコーチ」のコーディネーターにお越しいただき、定着支援の事例紹介等をしてもらった時のものです。

## ワクサポ広場を開催しています

ワークサポート杉並の定着支援を受けながら就労している、主に知的障害の方に向けての余暇支援活動「ワクサポ広場」（毎月第1・第3金曜日、障害者福祉会館2階 第1・2会議室）は、A・Bの2グループ（定員25名）に分けて行っています。

本年度は新型コロナウイルス感染症の状況に留意して短縮していた開催時間を30分延長し（18:30～20:00）プログラムの充実に取り組んでいます。

参加された皆さんの「楽しかった」「また来ます」との声に支えられ、今後も感染状況の確認と予防を徹底して開催してまいります。



## 知的障害の方の交流会を開催しました

ワークサポート杉並の支援を受けながら就労している知的障害の方が集う交流会を6月11日（日）ワークサポート杉並の会議室で開催しました。多くの方に参加して頂けるよう、午前、昼、夕方の3部制とし、55名の方が参加されました。

新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」になったことを受け、歌とダンスのプログラムを再開しました。どの世代の方もなじみのある「YMCA」をストレッチも兼ねて踊ったところ、振り付けを完璧に覚えていて生き生きと踊る方あり最初はちょっと照れながら最後は笑顔で踊る方あり、それぞれの「YMCA」を楽しんでいる姿が印象的でした。



今回は自己紹介を他己紹介として、二人一組で相手の方にインタビューした内容を発表しました。相手の方の話聞き漏らさないよう集中して聞いたり、発表の途中で思い出せなくなりその場インタビューをしたり、工夫をしながら紹介をしてくださいました。

お楽しみのゲームは「みんなでひっくり返せ！オセロゲーム」2チームの対抗戦で、床にばらまかれた表と裏で色を変えてあるカードをひっくり返し、制限時間が終わった時に自分のチームの色が多い方が勝ちとなります。

戦略を練るチームあり、ひたすらカードを返すチームあり初めてのゲームは大いに盛り上がりました。

最後は恒例のビンゴ大会。それぞれが選んだ景品を手に「次も来ます！」と皆さん笑顔で帰路につかれました。

今後も感染予防に注意しながら、楽しい交流会を開催していきたいと思えます。



就職しました（4・5・6月）

一般事務・事務補助 5名 社内メール便の集配 1名 水耕栽培 1名

計 7名

写真については、ご本人の了解を得て掲載しています。